

# 神奈川県微生物検査情報

<http://www.eiken.pref.kanagawa.jp/>  
神奈川県衛生研究所

## 第302号

平成30年2月22日発行  
病原体検出は平成29年12月分

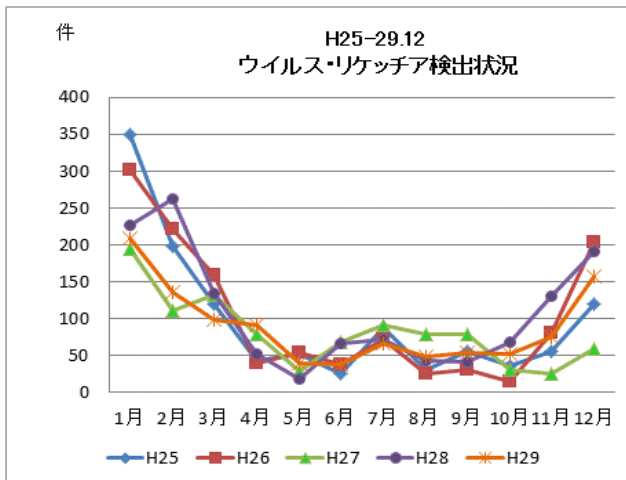
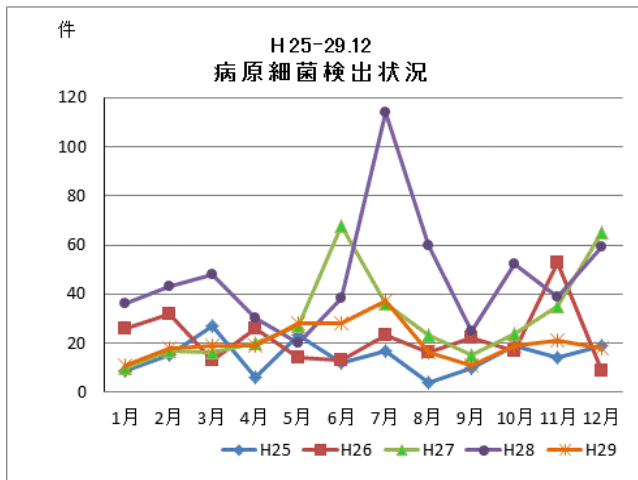
表1 病原体検出状況(保健所等別)－平成29年12月

	感染症および食中毒に伴う行政検査並びに依頼検査										病原体定検				合計			
	平塚保健福祉事務所	秦野センター	鎌倉保健福祉事務所	鎌倉保健福祉事務所 三崎センター	小田原保健福祉事務所	小田原保健福祉事務所 足柄上センター	厚木保健福祉事務所	厚木保健福祉事務所 大和センター	横須賀市保健所	藤沢市保健所	茅ヶ崎市保健所	計	小児科	インフルエンザ		眼科	基幹	その他の医療機関
病原細菌	毒素原性大腸菌(ETEC)												1					1
	腸管凝集性大腸菌(EAggEC)												1					1
	チフス菌								1			1						1
	サルモネラ 04群								1			1						1
	サルモネラ 09群								1			1						1
	カンピロバクター ジェジュニ									1		1						1
	カンピロバクター コリ									2		2						2
	黄色ブドウ球菌									1		1						1
	ウエルシュ菌									1		1						1
	A群溶血レンサ球菌												8					8
計								3	5		8	10					18	
ウイルス・リケッチア	インフルエンザ AH1 pdm09	3	4							8	15	49	9		1		74	
	インフルエンザ AH3								1		1	7	3				11	
	インフルエンザ B								2	3	5	16	7				28	
	コクサッキー A10											1					1	
	エンテロ 71											15					15	
	ムンプス											1					1	
	アデノ 1										1	1					1	
	アデノ 2												1				1	
	アデノ 3										2	2	1				3	
	アデノ (型未決定)												1				1	
	ノロ							1	7	7		15	2				17	
	デング			2 (2)								2 (2)						2 (2)
	オリエンチア ツツガムシ			2								2						2
計	3	6	2 (2)				1	7	10	14	43 (2)	94	19		1	157 (2)		
合計	3	6	2 (2)				1	10	15	14	51 (2)	104	19		1	175 (2)		

海外渡航者数は(内数)として記載

<検出状況>

12月の病原体検出数は合計175件、細菌は18件、ウイルス・リケッチアは157件であった。



- 病原体定点等の医療機関からの検査では、小児科定点から細菌が10件、ウイルスが94件、インフルエンザ定点からウイルスが19件、基幹定点からウイルスが1件検出された。
- 保健所管内別の病原体検出状況は表1のとおりである。

表2 病原細菌検出状況(臨床診断別)―平成 29 年 12 月

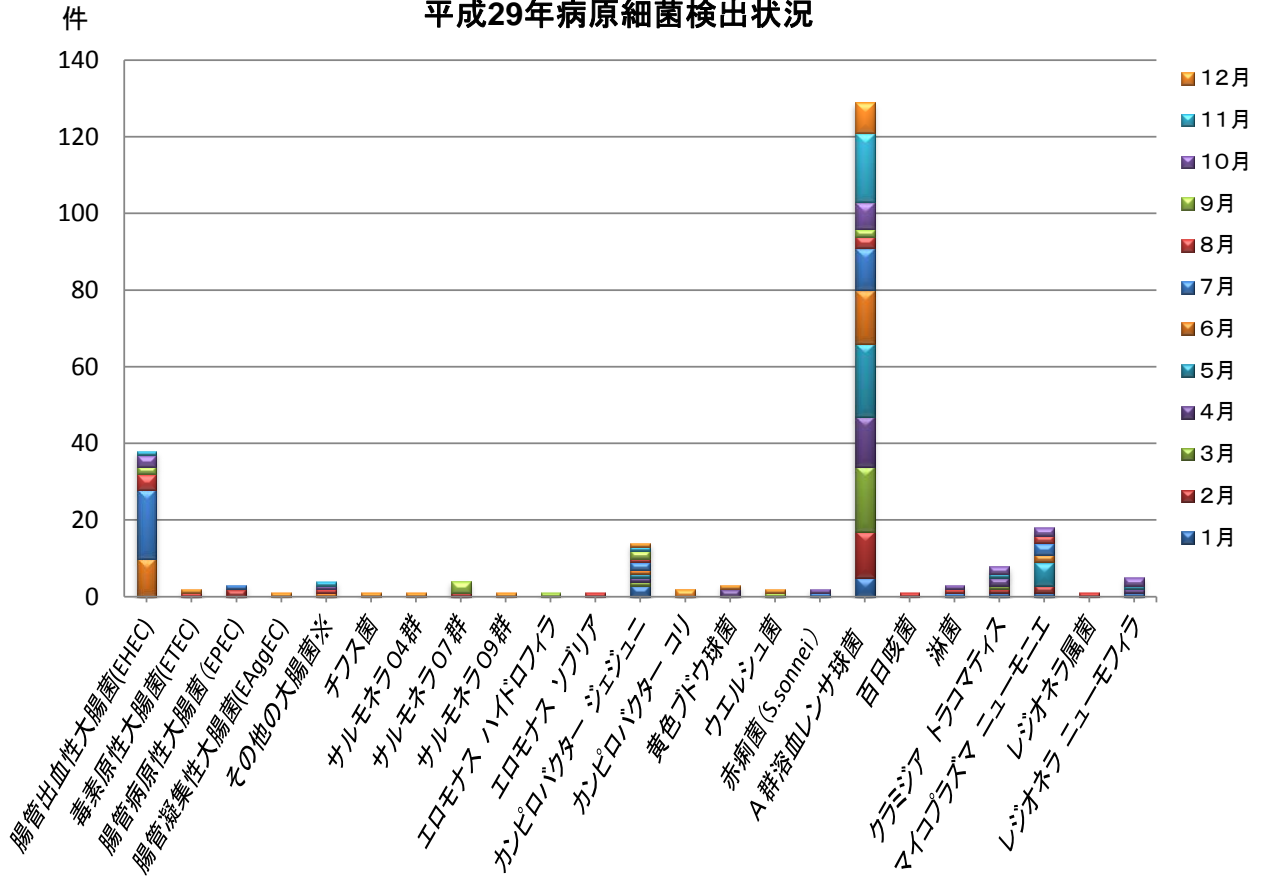
	感 染 症														（食 有 症 中 苦 情 含 む ） 様	（依 保 菌 頼 者 ） 検 査	合 計
	コ レ ラ	細 菌 性 赤 痢	腸 チ フ ス	バ ラ チ フ ス	腸 管 出 血 性 大 腸 菌 感 染 症	A 群 溶 血 性 レ ン サ 球 菌 咽 頭 炎	感 染 性 胃 腸 炎	マ イ コ プ ラ ズ マ 肺 炎	百 日 咳	細 菌 性 髄 膜 炎	菌 血 症	ペ ニ シ リ ン 耐 性 肺 炎 球 菌 感 染 症	レ ジ オ ネ ラ 症	淋 菌 感 染 症			
検 査 検 体 数		4	3		3	14	3					1			12	1612	1652
毒素原性大腸菌 (ETEC)							1										1
腸管凝集性大腸菌 (EAggEC)							1										1
チフス菌			1														1
サルモネラ 04群																	1
サルモネラ 09群																	1
カンピロバクター ジェジュニ															1		1
カンピロバクター コリ															2		2
黄色ブドウ球菌															1		1
ウエルシュ菌															1		1
A群溶血レンサ球菌						8											8
計			1			8	2								5	2	18

- 腸チフス疑い患者 3 検体中 1 検体からチフス菌 (*S.Typhi*) が検出された。
- A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎患者 14 検体中 8 検体から、A 群溶血レンサ球菌が検出された。血清型は、T1 が 4 検体、T25 が 1 検体、TB3264 が 1 検体、UT が 2 検体であった。
- 感染性胃腸炎患者 3 検体中 1 検体から毒素原性大腸菌 (ETEC) O169 (ST+,*astA*+) および腸管凝集性大腸菌 (EAggEC) O UT (*aggR*+,*astA*+) が同時検出された。
- 食中毒様事例 (有症苦情含む) では、12 検体中 5 検体から食中毒菌が検出された。その内訳は、カンピロバクター ジェジュニが 1 検体、カンピロバクター コリが 2 検体、黄色ブドウ球菌が 1 検体、ウエルシュ菌 (Hobbs 13 型) が 1 検体であった。
- 依頼検査では、1612 検体中 1 検体からサルモネラ O4 群が、1 検体からサルモネラ O9 群が検出された。

表3 病原細菌検出状況(月別)―平成28年12月～平成29年12月

	12月	平成28年累計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	平成29年累計
腸管出血性大腸菌(EHEC)	1	51						10	18	4	2	3	1		38
毒素原性大腸菌(ETEC)		2								1				1	2
腸管病原性大腸菌(EPEC)		4		2					1						3
腸管凝集性大腸菌(EAggEC)	1	2												1	1
その他の大腸菌 ※	1	21						1		1		1	1		4
チフス菌														1	1
サルモネラ O4群		3												1	1
サルモネラ O7群		1		1							3				4
サルモネラ O8群		3													
サルモネラ O9群														1	1
サルモネラ O13群		1													
腸炎ビブリオ		1													
エロモナス ハイドロフィラ		1									1				1
エロモナス ソブリア										1					1
カンピロバクター ジェジュニ	1	68	3		1	1	1	1	2	1	2		1	1	14
カンピロバクター コリ		2												2	2
黄色ブドウ球菌	2	13				2								1	3
ウエルシュ菌	1	18									1			1	2
赤痢菌 ( <i>S.sonnei</i> )									1			1			2
A群溶血レンサ球菌	7	95	5	12	17	13	19	14	11	3	2	7	18	8	129
エンテロコッカス フェシウム	39	122													
百日咳菌	1	2								1					1
淋菌		1							1	1		1			3
クラミジア トラコマティス		6	1	1	1	2	1					2			8
肺炎球菌		4													
マイコプラズマ ニューモニエ	2	49	1	2			6	2	3	2		2			18
レジオネラ属菌		1								1					1
レジオネラ ニューモフィラ	3	13	1			1	1					2			5
その他の細菌		80													
合計	59	564	11	18	19	19	28	28	37	16	11	19	21	18	245

### 平成29年病原細菌検出状況



### 平成28年病原細菌検出状況

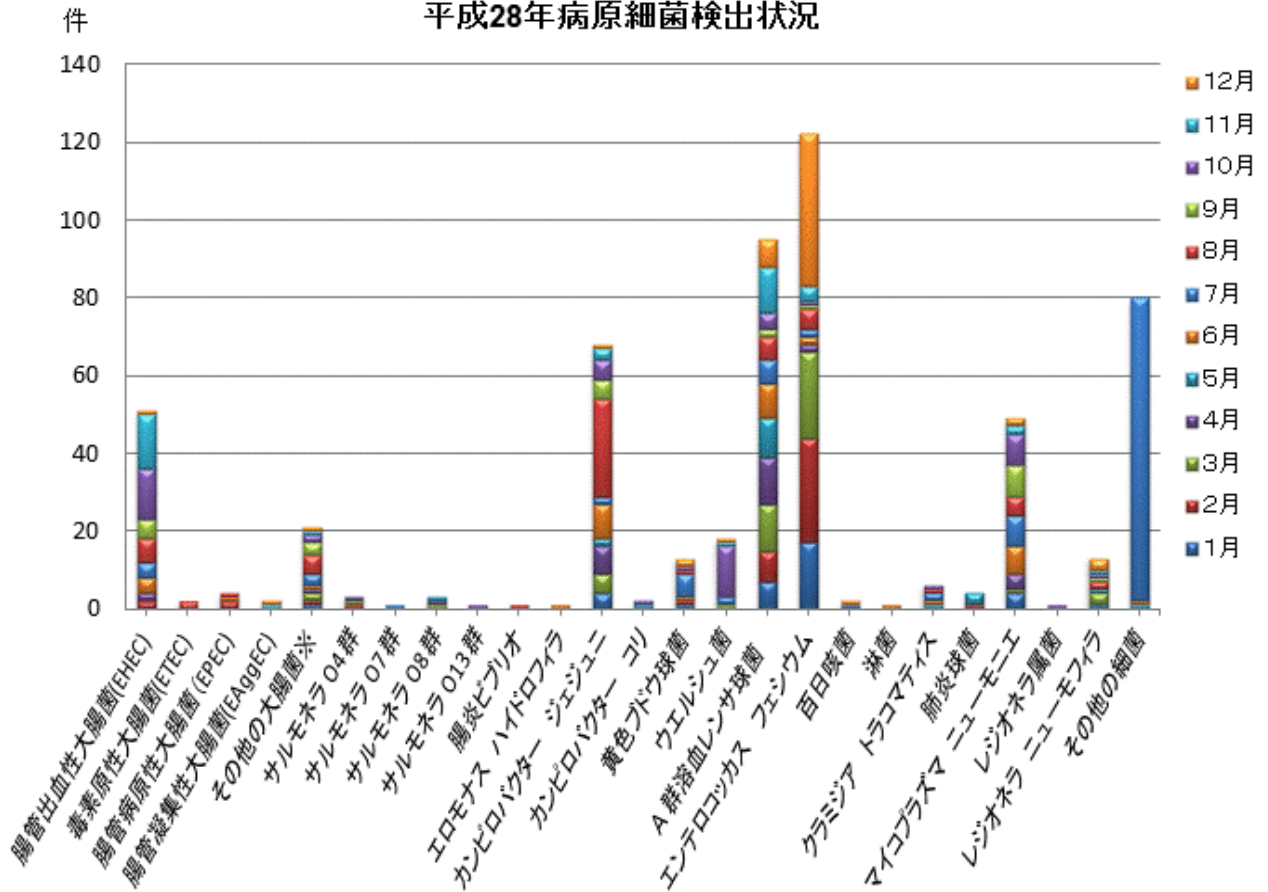


表4 ウイルス・リケッチア検出状況(臨床診断別)―平成29年12月

検査検体数	感染症																食中毒 (有症中 苦情含む) 他	合計
	ウエストナイル熱	つつが虫病	デング熱	日本紅斑熱	急性脳炎	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	感染性胃腸炎	手足口病	風しん	ヘルパンギーナ	麻疹	流行性耳下腺炎	インフルエンザ様	流行性角結膜炎	無菌性髄膜炎		
検査検体数		2	2				5	11	16				1	117		4	20	178
インフルエンザ AH1pdm09														74				74
インフルエンザ AH3														11				11
インフルエンザ B														28				28
コクサッキー A10									1									1
エンテロ 71									15									15
ムンプス												1						1
アデノ 1							1											1
アデノ 2							1											1
アデノ 3							3											3
アデノ(型未決定)								1										1
ノロ								7										10
デング			2 (2)															2 (2)
オリエンチア ツツガムシ		2																2
計		2	2 (2)				5	8	16				1	113			10	157 (2)

海外渡航者数は(内数)として記載

- ツツガムシ病疑い患者1例(2検体)から、オリエンチア ツツガムシが検出された。
- デング熱疑い患者1例(2検体)から、デングウイルスが検出された。デングウイルスが検出された患者には海外渡航歴があった。
- 咽頭結膜熱患者5例からアデノウイルスが検出された。その内訳は、アデノウイルス1型が1例、アデノウイルス2型が1例、アデノウイルス3型が3例であった。
- 感染性胃腸炎患者11例中8例から下痢症の原因となるウイルスが検出された。その内訳はノロウイルス6例、ノロウイルスおよびアデノウイルスの同時検出1例であった。
- 手足口病患者16例からウイルスが検出された。その内訳は、コクサッキーウイルスA10型が1例、エンテロウイルス71型が15例であった。
- 流行性耳下腺炎患者1例からムンプスウイルスが検出された。
- インフルエンザ様患者109例中106例からインフルエンザウイルスが検出された。その内訳は、インフルエンザウイルスAH1pdm09が67例、インフルエンザウイルスAH3が11例、インフルエンザウイルスBが28例であった。また、集団かぜ患者2集団8例中7例からインフルエンザウイルスAH1pdm09が検出された。
- 食中毒様胃腸炎検査では、便19検体について検査を実施したところ、ノロウイルス10例が検出された。

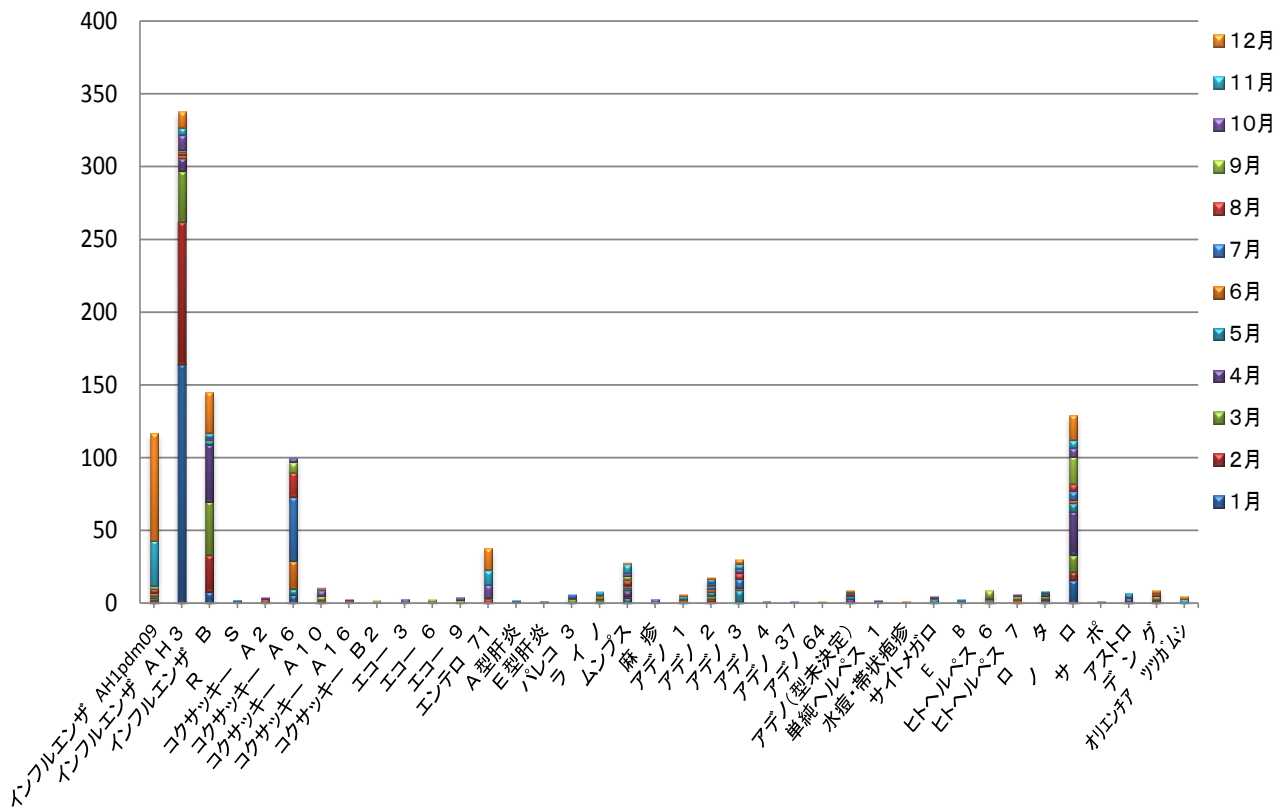
表5 ウイルス・リケッチア検出状況(月別)-平成28年12月～平成29年12月

	12月	平成28年累計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	平成29年累計
インフルエンザ AH1pdm09	1	263	1	1	2		1	2		3	2		31	74	117
インフルエンザ AH3	93	196	164	98	35	9		2		2	2	10	5	11	338
インフルエンザ B	2	166	8	25	37	39	3	1				1	3	28	145
R S		2	2												2
コクサッキー A2		12								3		1			4
コクサッキー A4		29													
コクサッキー A5		5													
コクサッキー A6		34	6				4	19	44	17	7	3			100
コクサッキー A10		24							1	1	3	4	1	1	11
コクサッキー A16		5								2		1			3
コクサッキー B1	1	1													
コクサッキー B2											2				2
コクサッキー B3		6													
コクサッキー B5		17													
エコー 3		5										3			3
エコー 6	2	6	1								2				3
エコー 9	1	3									2	2			4
エコー 11		3													
エコー 18		4													
エンテロ 71		1								3	1	9	10	15	38
A型肝炎	1	2 (1)			1				1 (1)						2 (1)
B型肝炎				1											1
パレコ 3		21			3			1	2						6
ライノ		13	1		1		1	2			1		2		8
ムンプス		21	4	1		4	2	1	1	3	3	2	6	1	28
麻疹		8										3			3
アデノ 1		9	1		1					1			2	1	6
アデノ 2	2	16	1	2	2		3	2	2		1	1	3	1	18
アデノ 3		11			1		8	2	6	4		3	3	3	30
アデノ 4	1	8	1												1
アデノ 5	1	5													
アデノ 19		1													
アデノ 37		1							1						1
アデノ 41	2	6													
アデノ 46		1													
アデノ 54	1	5													
アデノ 64											1				1
アデノ(型未決定)						3	2		1	1			1	1	9
単純ヘルペス 1						1						1			2
水痘・帯状疱疹		1						1							1
E B		1						1	1				1		3
サイトメガロ		3					3				1	1			5
ヒトヘルペス 6	1	4					2	1		1	5				9
ヒトヘルペス 7		3					1	1		1	2	1			6
ロ タ	3	6	2	1	2	2	1								8
ノ ロ	79	374	16	6	11	30	6	2	6	5	19	6	5	17	129
サ ポ		1							1						1
アストロ		1				4	3								7
デング		3 (3)	1 (1)	1 (1)	3 (2)					2 (2)				2 (2)	9 (8)
オリエンチア ツツガムシ		1											3	2	5
合計	191	1308 (4)	209 (1)	136 (1)	99 (2)	92	40	38	67 (1)	49 (2)	54	52	76	157 (2)	1069 (9)

海外渡航者数は(内数)として記載

件

### 平成29年ウイルス・リケッチア検出状況



件

### 平成28年ウイルス・リケッチア検出状況

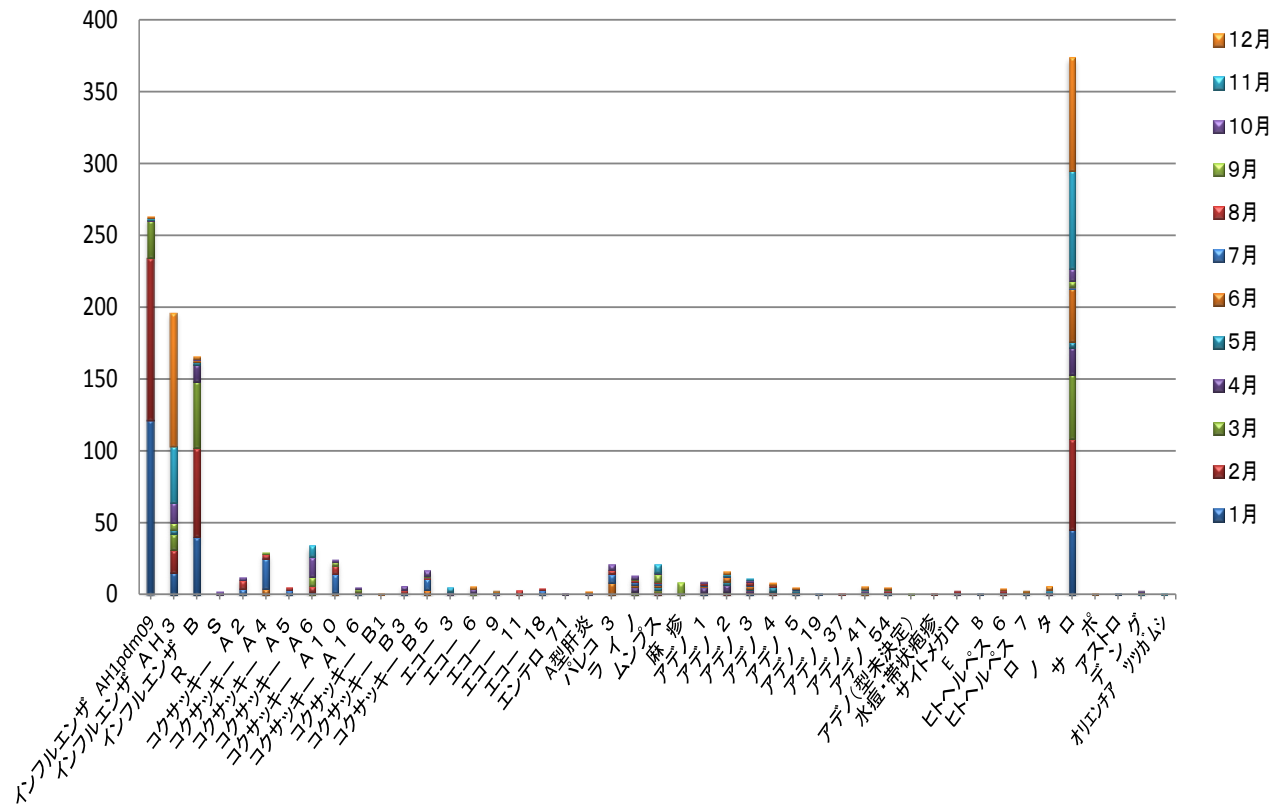




表6 食品・環境由来の病原細菌検出状況—平成 29 年 12 月

検査検体数	病原細菌検出数および検査検体数													
	食 品						環 境							
	12月			1~12月累計			12月				1~12月累計			
	食中毒等	収去検査	その他	食中毒等	収去検査	その他	海水*	浴槽水等	食中毒等	その他	海水*	浴槽水等	食中毒等	その他
検査検体数		101	5	81	1398	496		2	5	7	64	114	80	331
腸管出血性大腸菌 (EHEC)				1										
その他の大腸菌 ※2					1									3
サルモネラ 04群														
サルモネラ 07群														
サルモネラ 08群														
サルモネラ 09群														
腸炎ビブリオ														
カンピロバクター ジェジュニ														
カンピロバクター コリ														
カンピロバクター ジェジュニ/コリ														
黄色ブドウ球菌					1	10								
セレウス菌														
レジオネラ属菌												3		1
レジオネラ ニューモフィラ 1群												6		
レジオネラ ニューモフィラ 2群												2		
レジオネラ ニューモフィラ 3群														
レジオネラ ニューモフィラ 4群												3		
レジオネラ ニューモフィラ 5群														
レジオネラ ニューモフィラ 6群												6		
レジオネラ ニューモフィラ 7群														
レジオネラ ニューモフィラ 8群														
レジオネラ ニューモフィラ 9群														
レジオネラ ニューモフィラ 10群														
レジオネラ ニューモフィラ 11群														
レジオネラ ニューモフィラ 12群												1		
レジオネラ ニューモフィラ 13群														
レジオネラ ゴルマニイ														
レジオネラ ミクダデイ														
レジオネラ デュモフィー														
検出菌計				1	2	10						21		4

※：河川水を含む。

※2： EHEC (VTEC)・ETEC・EIEC・EPEC・EAggEC以外の大腸菌（病原性不明なもの）  
プール水、エアコンの水等は、環境の「その他」に計上。